

## 公益財団法人 慶長遣欧使節船協会

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書

# 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

## 1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 6 月 20 日

市所管部署 石巻市 産業部観光課

## 2 法人名称等

法人名称 公益財団法人慶長遣欧使節船協会  
 法人所在地 石巻市 渡波字大森30番地2  
 設立年月日 平成 4 年 1 月 11 日  
 代表者職・氏名 代表理事 一力 雅彦

設立目的・経過  
 慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事により、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。

## 3 定款上の事業内容

- (1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
- (2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
- (3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
- (4) 海事思想の普及・啓蒙
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

## 5 役員・職員の状況

### (1) 役員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	9
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	11	11	9
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

### (2) 職員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	6	9	10
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	1	1
非常勤	11	12	9
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	17	21	19
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

## 6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事により、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。

- ① 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
- ② 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
- ③ 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
- ④ 海事思想の普及・啓蒙
- ⑤ 宮城県の指定を受けて行う慶長遣欧使節船ミュージアムの管理運営
- ⑥ 石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・パウティスタパークの管理運営
- ⑦ その他この法人の目的を達成するための必要事項

## 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

## 7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム 入館料	円	目標 計画	20,634,000	20,132,000	6,250,000	6,250,000	6,250,000
		実績	15,573,710	6,214,450			
目標・指標の説明		平成29年度より展望棟において「復元船建造の記録展示」や「東日本大震災資料の展示」など、さらなる展示内容の拡充を図る。					
目標未達の場合の要因分析		平成28年4月から、復元船の老朽化等に伴う乗船見学中止及び入館料の半額措置に伴い入館者及び入館料は大幅な減額となった。					

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム 入館者数	人	目標 計画	48,000	48,000	30,000	30,000	30,000
		実績	48,614	26,418			
目標・指標の説明		平成29年度より展望棟において「復元船建造の記録展示」や「東日本大震災資料の展示」など、さらなる展示内容の拡充を図る。					
目標未達の場合の要因分析		平成28年4月から、復元船の老朽化等に伴う乗船見学中止及び入館料の半額措置に伴い入館者及び入館料は大幅な減額となった。					

## 8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①第23回サン・ファン祭り ②サン・ファンナイトアップ及びイルミネーションツリー ③市民団体による各種イベントの実施	①市民団体手作りのサン・ファン祭りに18,000人が来場 ②サン・ファン祭り前夜祭にナイトアップ。12月中旬から年末までイルミネーションツリーを実施し約4,000人が見学 ③恒例となった「渡波市民夏祭り」や「復興グルメF-1大会」など市民参加型のイベントに貸出し	石巻三大祭りの一つ「サン・ファン祭り」や年末の「イルミネーションツリー」の実施、及び地域住民手作りの「渡波市民夏祭り」、復興関連イベントの会場としてサン・ファンパークを活用し多くの来場者に慶長使節の意義と県民共有の財産である復元船のPRに努めた。	①市民手作りの第22回サン・ファン祭りに約15,000人が来場 ②イタリア祭に約6,000人来場 ③サン・ファンイルミネーションツリー。12/23夜間開館を実施(有料入館者数257名) ④第7回絵画コンクールに作品総数36点の応募があった。
事業の公共性、公益性	復元船の老朽化等に伴う乗船禁止措置により施設の展示内容が大きく後退したことから、隣接するサン・ファン・パウティスタパークを活用したイベント事業による集客を図り、同施設のPRに努めた。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①開館・開園20周年記念企画展「サン・ファン・パティスタが育んだもの」を開催 ②歴史講座の開催 ③絵画コンクール、絵画教室の開催	①近世の歴史から見た慶長使節のイメージ形成や、使節に関する文化をテーマとした企画展を開催した。 ②当館館長による歴史講座「慶長使節が目指した世界」を月1回計6回開催 ③第1回絵画教室を開催するとともに第8回絵画コンクールに多くの応募(36点→58点)があった。	①慶長使節船が持ち帰った歴史的資料や復元船が育んだ絵画やオペラなどの文化の紹介を通じ慶長使節の啓蒙を図った。 ②慶長使節の出帆からスペインまでの道のりなどについて講演し慶長使節の啓蒙を図った。 ③絵画教室の連携したコンクールを開催し児童生徒に慶長使節の意義を学んでもらった。	①「伊達の黒船をつくった人々」を11月1日より1月25日まで開催し、終了後も展示公開した。 ②宮城学院大学平川学長を講師に「慶長遣欧使節の世界的意義」の講演会を開催した。 ③「慶長使節が目指した世界」を5月から10月まで6回開催した
事業の公共性、公益性	慶長使節の派遣目的が我が国初の外交使節であるとの史実に加え、使節派遣の2年前に仙台藩を襲った「慶長の津波」からの復興もその要因の一つではないかと思われることから、復元船を震災復興のシンボルとして位置付け普及・啓蒙に努めた。		

## 9 市が期待する役割、市意見等(担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

## 1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	103,246	99,959	▲ 3,287	108,544	8,585
うち 現金・預金	101,136	97,587	▲ 3,549	106,385	8,798	
固定資産	1,084,086	1,154,079	69,993	1,123,660	▲ 30,419	
(1) 基本財産	1,080,879	1,143,406	62,527	1,114,872	▲ 28,534	
(2) 特定財産			0		0	
(3) その他の固定資産	3,207	10,673	7,466	8,788	▲ 1,885	
資産の合計	1,187,332	1,254,038	66,706	1,232,204	▲ 21,834	
貸方（科目）		平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
流動負債	30,880	6,630	▲ 24,250	13,776	7,146	
うち 短期借入金			0		0	
固定負債			0		0	
うち 長期借入金			0		0	
負債合計	30,880	6,630	▲ 24,250	13,776	7,146	
正味財産	1,156,452	1,247,408	90,956	1,218,428	▲ 28,980	
指定正味財産	1,080,880	1,143,407	62,527	1,114,872	▲ 28,535	
うち 基本財産への充当額	1,080,879	1,143,407	62,528	1,114,872	▲ 28,535	
うち 特定資産への充当額			0		0	
一般正味財産	75,572	104,001	28,429	103,556	▲ 445	
うち 基本財産への充当額			0		0	
うち 特定資産への充当額			0		0	
負債・正味財産の合計	1,187,332	1,254,038	66,706	1,232,204	▲ 21,834	

正味財産増減計算書	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	29,273	28,429	▲ 844	▲ 446	▲ 28,875
経常増減の部	23,312	28,501	5,189	▲ 374	▲ 28,875	
経常収益	227,907	220,686	▲ 7,221	198,531	▲ 22,155	
経常費用	226,157	247,749	21,592	198,905	▲ 48,844	
評価損益等計	21,562	55,564	34,002		▲ 55,564	
経常外増減の部	5,961	▲ 72	▲ 6,033	▲ 72	0	
経常外収益	9,549		▲ 9,549		0	
経常外費用	3,588	72	▲ 3,516	72	0	
一般正味財産期首残高	46,299	75,573	29,274	104,002	28,429	
一般正味財産期末残高	75,573	104,002	28,429	103,556	▲ 446	
指定正味財産増減の部	24,577	62,527	37,950	▲ 28,534	▲ 91,061	
指定正味財産増減額	24,577	62,527	37,950	▲ 28,534	▲ 91,061	
指定正味財産期首残高	1,056,302	1,080,879	24,577	1,143,406	62,527	
指定正味財産期末残高	1,080,879	1,143,406	62,527	1,114,872	▲ 28,534	
正味財産期末残高	1,156,452	1,247,408	90,956	1,218,428	▲ 28,980	

（※）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
事業活動によるキャッシュ・フロー	12,865	▲ 79,154	▲ 92,019	▲ 50,050	29,104
当期一般正味財産増減額	29,346	28,501	▲ 845	▲ 374	▲ 28,875
キャッシュ・フローへの調整額	▲ 62,620	▲ 224,917	▲ 162,297	▲ 21,569	203,348
指定正味財産増加収入	46,139	117,262	71,123	▲ 28,107	▲ 145,369
			0		0
			0		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,972	75,605	45,633	58,848	▲ 16,757
投資活動収入	1,440,070	2,175,216	735,146	61,484	▲ 2,113,732
投資活動支出	▲ 1,410,098	▲ 2,099,611	▲ 689,513	▲ 2,636	2,096,975
			0		0
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	42,837	▲ 3,549	▲ 46,386	8,798	12,347
現金及び現金同等物期首残高	58,299	101,136	42,837	97,587	▲ 3,549
現金及び現金同等物期末残高	101,136	97,587	▲ 3,549	106,385	8,798

（※1）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

## 2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	30,075	39,880	9,805	36,839	▲ 3,041
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）			0		0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

# 情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

## 1 貸借対照表に関する補足

### (1) 総括分析

投資有価証券（国債）の期末時価の減少により金額が減少した。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
基本財産	資産の減少	投資有価証券の期末時価の減少

## 2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

### (1) 総括分析

乗船見学とドック棟への立入禁止による来館者の減少のため入館料の減少及び委託費等の見直しによる経費の減少

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
利用料収入	利用料収入の減収	乗船禁止等による来館者の減少
修繕費	修繕費の減少	船舶検査等の実施見送りなど
委託費	委託費の減少	乗船禁止等による見直し

### 3 キャッシュフロー計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

特になし
------

#### (2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因

### 4 市による財政・金融支援等に関する補足

#### (1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途

#### (2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容
指定管理料	36,839,378	サン・ファン・パウティスタパークの管理運営

#### (3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位:円)	減免理由

# 市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光課

## 1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

### （1）中間的な経営目的・事業計画

平成25年11月3日に再開館したことにより、平成26年度は、震災後初の通年での運営が実施できた。

平成28年度は震災後の通年運営3年目となったが平成28年3月より、乗船見学が中止となった。

このことから、現状での入館者数・売上高が実績として把握できたため、中期的な視点で事業計画及び目標数値を定められたと考える。

### （2）主要事業の成果、課題

今後も、宮城県慶長使節船ミュージアムと合わせて石巻市サン・ファン・パウティスタパークを活用し、相乗効果で来館者の増加に期待したい。

復元船の老朽化による乗船見学中止により、集客面での課題があるため、さらなる展示内容の拡大を図る必要がある。

## 2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

### （1）貸借対照表

特になし

### （2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし



(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・パウティスタパーク指定管理料として支出している金額であり、今後も年度協定に定められた指定管理料において適正かつ効果的・効率的な運営に努められたい。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加に繋がるよう期待したい。

また平成29年度については、伊達政宗生誕450周年にあたるため、各関係団体と積極的に連携を図り、東日本大震災からの地域の再生・復興、及び歴史・文化・国際交流の観点から、更なる観光客の誘致を図り、地域の復興に寄与することを期待する。